

労働力調査（詳細集計） 地域別の年平均結果の公表について

総務省では、労働力調査（詳細集計）において、地域別年平均結果の公表を開始します。

1 目的

我が国の雇用情勢については、完全失業率の改善とともに、正規の職員・従業員などの雇用形態別結果が注目されており、加えて、地域別の雇用情勢も注目されているところです。このため、雇用形態別結果を公表している労働力調査（詳細集計）において、現在の全国結果に加え、10地域別の年平均結果の公表を開始することとします。

2 公表内容

以下の10地域別結果を年平均として公表します。

役員を除く雇用者、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員

3 公表日程

(1) 公表開始時期

平成20年2月29日（平成18年及び19年平均結果）

(2) 今後の予定

労働力調査（詳細集計）の年平均結果を公表する際に、10地域別の年平均結果をあわせて公表します。また、別途平成14年まで遡及して計算した結果を公表する予定です。

4 結果の利用について

地域別の結果数値は、全国結果と推計方法が異なるため、各地域別の結果を合計しても全国結果とは一致しません。

5 詳細集計の推定方法

(1) 全国結果の算出

四半期平均及び年平均結果は、該当する期間の月次結果を単純平均して算出しています。

月次結果については、毎月の基本集計結果の全国の男女、年齢10歳階級（5区分）、就業状態（就業者、完全失業者、非労働力人口）別人口を基準人口とする比推定によって算出しています。

(2) 地域別結果の算出

地域、男女、年齢5歳階級（13区分）別に国勢調査に基づく推計人口を基準人口とする比推定により毎月の結果を算出します。その後、この毎月の結果から年平均結果を算出し、さらに、基本集計の年平均結果の地域、男女、年齢10歳階級（5区分）、就業状態（就業者、完全失業者、非労働力人口）別人口を基準人口とする比推定によって地域別結果を算出します。

なお、線型推定用乗率（抽出率の逆数）は、基本集計結果の算出の際に用いた線型推定用乗率を用いています。